

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等

「平成 26 年度熊谷市表彰式」の開催について

- 実施日時等 平成 26 年 4 月 5 日 (土) 午前・午後 10 時 00 分から
平成 26 年 4 月 5 日 (土) 午前・午後 11 時 10 分まで
- 会場・主催地 熊谷市立大里生涯学習センター「あすねっと」文化ホール
- 主催者・関係者
(1) 団体名等 熊谷市
(2) 代表者名 熊谷市長 富岡 清 TEL 048-524-1111 内線 204
- 事業内容 市政に功労のあった方々を表彰するため、「平成 26 年度熊谷市表彰式」を開催します。
本市で最も権威ある、熊谷市表彰条例に基づく表彰では、本市の文化の興隆、福祉の増進、産業の発展又は自治の振興に貢献された 4 名の方々を表彰します。(功績は別紙参照)
また、熊谷市表彰規則により、市政に労のあった 80 名の方々の表彰に併せ、熊谷市職員表彰規程により 55 名の職員を表彰します。
- 目的・理由 市政に功労のあった方々を表彰し、その功績を称えるため。
- 経緯・経過
- 影響・効果
- この事業の実施による特記事項・PRポイント
(1) 県内の状況
ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目
(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

・ 他市と同じ

※ 資料の有無 (有 ・ 無)

担当者 腰塚、長岡

連絡先 TEL 048-524-1111 内線 204

別紙

平成26年度
熊谷市表彰条例に基づく被表彰者
功績調書

文化功労表彰

まつざわ たけし
松沢 嶽 氏 (89歳 熊谷市本石在住)

熊谷市弓道連盟名誉会長
埼玉県弓道連盟名誉会長
熊谷市文化功労者 (熊谷市教育委員会 平成9年)
勲六等単光旭日章 (平成12年)
武道功労者表彰 (日本武道協議会 平成23年)

一 功 績 一

松沢嶽氏は、昭和15年に弓道初段取得以来、弓道一筋に情熱を注ぎ、平成3年には日本弓道界の最高位である範士八段を授与され、選手として、また指導者として長年にわたり本市における弓道の普及、発展に貢献されました。

この間、氏は埼玉県の代表選手として各種大会に出場し、特に国体選手として6回の出場を果たし、埼玉県総合優勝の一翼を担ったのをはじめ数多くの入賞をする等、熊谷市弓道界の名声を全国に知らしめました。

同時に氏は、熊谷市弓道連盟の設立に尽力し、昭和30年設立と同時に理事に就任、その後、会長、名誉会長等の要職を歴任するとともに、熊谷市体育協会の役員として、全体的視野に立った識見を持って熊谷市の社会体育推進に貢献されました。また、埼玉県弓道連盟の会長として本市のみならず、県下全域の弓道の普及、発展に尽力されました。

さらに、氏が指導責任者として昭和43年に開設された「市民弓道教室」は、多くの市民に愛好され、また、ジュニア育成の一環として、市内高校生を指導するなど指導の第一線に立ち、体力向上、健康増進と併せ青少年の人間育成に大きく寄与されました。

このように、弓道という日本古来の武道の伝承、発展に取り組み、本市における社会体育の振興、充実に大きく貢献した功績は、誠に顕著です。

福祉功労表彰

かどくら やへい
門倉 彌平 氏（76歳 熊谷市中奈良在住）

埼玉県保護司会連合会副会長
熊谷地区保護司会会長
全国保護司連盟理事長表彰（平成21年）
法務大臣表彰（平成23年）

— 功 績 —

門倉彌平氏は、平成4年に保護司に就任以来、20年余の長きにわたり、社会奉仕の精神をもって、罪を犯した人や非行のある少年の改善更生を助けるとともに、社会を明るくする運動を通して犯罪予防の啓発を始め、地域社会の安全及び市民福祉の増進に大きく貢献されました。

この間、氏は、犯罪や非行に陥った人の面接や家庭訪問等を積極的に行い、立ち直りを助け生活再建に向けた指導にあたるなど、保護司活動に精力的に力を注がれました。

こうした氏のひたむきな保護司活動と温厚篤実な人柄が、多くの支持を得て、平成19年4月に熊谷地区保護司会副会長、平成22年6月には熊谷地区保護司会会長と同時に埼玉県保護司会連合会理事に就任し、平成23年5月からは同連合会常務理事、平成25年5月以降は副会長を務めるなど卓越した指導力や統率力を発揮し、県及び熊谷地区それぞれの保護司会の円滑な運営に多大な貢献をされました。

さらに、さいたま市を除く県内自治体では初めてとなる更生保護サポートセンターの熊谷地区設置に使命感をもって奔走し、保護司の行う処遇活動や犯罪予防活動の拠点として、平成24年12月に市役所本庁舎内にその設置・実現を果たす一方、自ら企画調整保護司として常駐し保護司活動の企画・立案や情報発信にその指導的役割を担うほか、地域における関係機関・団体及び地域住民との連携を図るなど、犯罪のないまちづくりを通じた本市の発展と市民福祉の向上に寄与された功績は誠に顕著です。

産業功労表彰

たきざわ やすかず
滝沢 寧和 氏 (68歳 熊谷市本石在住)

元熊谷市商店街連合会会長
熊谷商工会議所常議員
関東経済産業局長表彰 (平成24年)

— 功 績 —

滝沢寧和氏は、昭和63年、熊谷商工会議所議員に就任以来、平成13年から現在に至るまで常議員として活躍され、組織の拡大や財政・基盤強化等の事業運営に尽力され、地域経済団体の振興・発展に多大な貢献をされました。

この間、氏は、小売商業部会長や企画政策室委員等を歴任され、「熊谷の日本一」創造運動を推進されたほか、小売業の業態について研究された成果を基に、埼玉県では初となる「街なかゼミナール」や産学官の連携推進のもと、近隣大学等との定期的なフォーラムの開催にも取り込まれるなど、地域活性化の牽引役としても精力的に活動されてまいりました。

また、熊谷市商店街連合会においても、昭和63年の常任理事就任以来、専務理事等の要職を歴任され、長年にわたり商店街の振興と地域活性化に寄与されました。

現在、一大イベントとなっている「オ・ドーレなおざね」は、平成13年に氏が中心となって企画立案に携わり、強力的リーダーシップのもとに実現されたものであり、今や本市の11月の風物詩として定着しています。

さらに、平成21年からは、会長として、熊谷えびす大商業祭の拡充に力を注がれるとともに、総額11億円の大型事業となった熊谷市プレミアム付き商品券発行事業や初開催で来場者数1万人の大盛況となった第1回熊谷市B級グルメ大会の実施など、様々な事業に献身的に関わり、本市の発展と産業の振興に寄与された功績は誠に顕著です。

自治功労表彰

しばさき てるとし
芝崎 光利 氏 (75歳 熊谷市上川上在住)

元熊谷市収入役
元熊谷市選挙管理委員会委員長
元関東都市収入役会副会長
埼玉県知事表彰 (平成16年)

一 功 績 一

芝崎光利氏は、昭和33年、本市に奉職し、以来本市収入役を退任するまでの47年余の長きにわたり、地方自治の振興に尽力し、市政の発展に多大な貢献をされました。

この間、氏は、現在の熊谷スポーツ文化公園となる県営公園の誘致に尽力するとともに、環境部長、総務部長及び企画部長の要職を歴任し、熊谷衛生センター第二工場の整備、阪神淡路大震災被災地救援の指揮、熊谷市地域防災計画の見直しと策定、熊谷市総合振興計画の策定、市内循環バスの導入等、綿密な計画力、適切な判断力と決断力、実行力をもって市政運営の中心となり、その力量をいかんなく発揮されました。

こうした氏の長年にわたる幅広い行政経験と卓越した行政手腕を高く評価され、平成10年に収入役に任命され、健全な財政運営により市長を補佐されました。バブル経済後の景気低迷は本市の財政にも影響を与えましたが、氏は、市の政策執行に影響を与えることなく市民サービスを継続できるよう、資金の安全かつ効率的運用に尽力されました。また、平成17年の新熊谷市の誕生にあたっては、会計責任者として、財産管理についての課題、新たな会計システムの構築等多くの課題解決に力を注がれました。

さらに、関東都市収入役会副会長及び埼玉県都市収入役会副会長等の要職を歴任し、広域行政の進展に大きく貢献されました。

また、熊谷市選挙管理委員会の委員長として、選挙の普及と公正かつ効率的な選挙の執行に尽くされるなど、本市の発展と地方自治の振興に寄与された功績は誠に顕著です。